

トランスフェア ジャパン 設立される

松木傑 事務局長

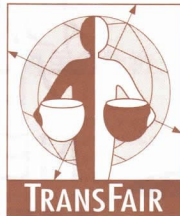
1993年11月にトランスフェア
インターナショナルの代表のマルチ
ン・クンツ氏を迎えトランスフェア
ジャパンが設立されました。

構成団体は、アジア、アフリカから
研修団を受け入れ草の根の指導者の養
成を行っているアジア学院、カトリック
東京教区正義と平和委員会、わかち
あいプロジェクトの3団体で、個人会
員として第一コーヒーの高橋三男氏が
加わられました。

ドイツ、オーストリア、ルクセン
ブルグにつづく第4番目のトランスフェア
です。ドイツでは、教会関係組織
を中心に、生協、組合、援助団体、ユ
ニセフなど20団体以上が参加し、ト
ランスフェアの運動を支えています。

内閣、省庁、地方政府、ハイデル
ベルグ大学や企業では、その食堂のコー
ヒーをトランスフェアのコーヒーに
変えているそうです。最近の情報では、
トヨタ自動車のドイツ本部も、トラン
スフェアコーヒーを採用したとのこ
とです。

トランスフェアコーヒーの目的は、
コーヒー生産者が生活できるように、
国際市場よりかなり高い値段(約2倍)
で、コーヒーの生豆を買い入れること
にあります。生産者と消費者の信頼関
係に基づき、現在の不公平な南北の貧
富の格差に、誰でも日常生活から取り



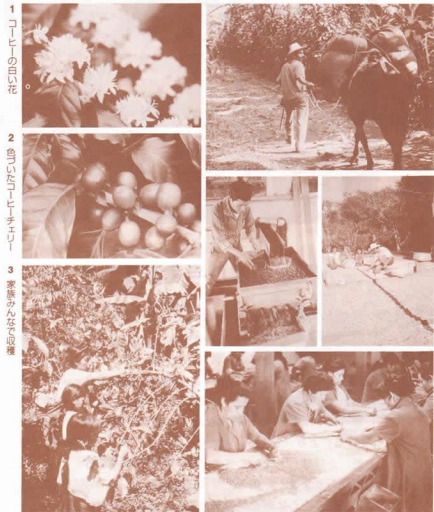
トランスフェア(ドイツ)インターナショナル

は少なく、第三番目のコーヒーを見つ
けるのに苦労しています。ドイツの場
合もトランスフェアコーヒーの売り
だしは昨年始まったばかりですが、2
万5千店舗で、3千3百トンが売られ、
金額にして6億円相当が、世界市場の
価格で買った場合と比較して多く生産
者に渡ったことになりました。

今年は、カカオ、砂糖、蜂蜜、紅茶
のトランスフェアの基準作りを準備
しており、将来は手工業品にも適用
することを考えています。

また、国際的なネットワークも、イ
タリアが今夏に設立が予定され、北米、
北欧は設立の過程にあります。このよ
うに今後も世界に広がりが強い運動に
したいものです。

日本での新しい動きは、生活クラブ
生協神奈川が、4月からトランスフェア
コーヒーの取り扱いを始めたこと
です。



1 コーヒーの生豆
2 コーヒーの生豆
3 コーヒーの生豆
4 輸出
5 輸出
6 輸出
7 輸出



トランスフェアジャパンの設立
会長 鳥見敏彦氏(中央)とクンツ氏

わかちあい プロジェクト NEWS No.3

1994 APRIL

布切れで作ったボールで
遊ぶカグマの子供たち



受けるより与えるほうが

わかちあいプロジェクト代表 宝珠山幸郎

「受けるより与えるほうが幸いである」とキリス
トの言葉が聖書に伝えられています。

もう、昔になります。戦争直後の食べ物にも着
る物にも事欠き飢えていた時代、米国からの援助食
料や中古衣料を喜んで受けた時期がありました。

あの時代に比べると日本は豊かになり、いまや
「受ける」より「与える」側になったのは、幸いなこ
とだ、と「昔」と比較しての「今」を言われている
ではありません。豊かになった今にあっても、も
し私が自分中心に物をかき集めることだけに集中し

ているならば、——例えそれが高級住宅や美術品や
海外旅行などの内容に変わっているととしても——た
だ自分中心にだけ生きようとする姿は少しも変わ
っていないのです。そこで私たちが生き方を変えて、
少し悔が痛くて、辛くても、もし「与える」あなた
になることが出来たとすれば、それは喜ばしく幸い
なことじゃないかと論じられるのです。「与える」人を
起こし広げてゆくことと、発展途上の自立の人の起
こしが、この運動の目的だとも言えるのではないで
しょう。